



9月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の9月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

石原 慶幸 (広島東洋カープ)
2 度目

石原選手は、9月17日(火)マツダスタジアムで行われた対阪神タイガース 21 回戦、1対1の同点で迎えた9回裏に先頭打者として打席に入り、初球を振り抜くと打球は左翼席に突き刺さるサヨナラ本塁打となりました。この一打でチームは2009年5月以来の7連勝を飾り、CS出場争いをする4位中日ドラゴンズと今季最大の5.5ゲーム差となり、16年ぶりのAクラス(CS初出場)に向け、チームを前進させる大きな一打となりました。石原選手は、今年の7月度も同賞を受賞しており、セ・リーグ初の複数回受賞となります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

片岡 治大 (埼玉西武ライオンズ)
初受賞

片岡選手は、9月25日(水)西武ドームで行われた対東北楽天21回戦、2対2で迎えた9回裏の二死二塁の場面で、左翼へサヨナラ2点本塁打を放ちました。この日の片岡選手は、6回裏に1点差に追い上げる適時打を放ったほか、8回裏には先頭打者として出塁して同点のホームを踏むなど、サヨナラ本塁打を含む3安打3打点2得点の大活躍。クライマックスシリーズ進出を狙うチームに貴重な勝利をもたらしました。片岡選手のサヨナラ本塁打は2009年7月11日以来、4年ぶり2度目となります。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として昨シーズン制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (横浜DeNAベイスターズ)	田中 賢介 (北海道日本ハムファイターズ)
5月度	森野 将彦 (中日ドラゴンズ)	A.バルディリス (オリックス・バファローズ)
6月度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	M.ホフパワー (北海道日本ハムファイターズ)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋カープ)	柘田 慎太郎 (東北楽天ゴールデンイーグルス)
8月度	阿部 慎之助 (読売ジャイアンツ)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンクホークス)
9月度	新井 良太 (阪神タイガース)	松井 稼頭央 (東北楽天ゴールデンイーグルス)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神タイガース)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルトスワローズ)	浅村 栄斗 (埼玉西武ライオンズ)
6月度	M.マートン (阪神タイガース)	高橋 信二 (オリックス・バファローズ)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋カープ)	嶋 基宏 (東北楽天ゴールデンイーグルス)
8月度	長野 久義 (読売ジャイアンツ)	浅村 栄斗 (埼玉西武ライオンズ)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (読売ジャイアンツ)	井口 資仁 (千葉ロッテマリーンズ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋カープ)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンクホークス)
2011年度	長野 久義 (読売ジャイアンツ)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)
2012年度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	中田 翔 (北海道日本ハムファイターズ)

以上